

2022年度 課題研究セミナーの実施

1. 対象 自らの研究課題について研究を遂行する過程を発表でき、教員及び参加学生からの質問に回答できること。また、研究の初期準備段階ではなく、既に得られている研究実績があり、学位課題研究として完成に近い研究段階であること。

2. 開催時期

夏季：7月中旬～8月上旬 秋季：10月中旬～11月上旬

※MS Teams を使用したオンライン開催

3. 発表登録等の各手続時期

	夏 季	秋 季
発表希望者登録期限 コメンテーター候補者登録期限	5/20 (金)	8/26 (金)
コメンテーターの決定 (博士学務委員会にて)	6/7 (火)	9/6 (火)
抄録提出期限	6/24 (金)	9/26 (月)
日程等の公開	7/6 (水) 予定	10/5 (水) 予定

- ・発表希望者登録内容：学生番号、氏名、希望日、タイトル、コメンテーター候補者
発表締切以降の登録は、いかなる理由があっても受け付けません。
発表日時の変更が生じた場合は、学生相互で交替し、その結果を抄録登録時までに大学院担当へ連絡すること。
- ・発表時間：発表 15 分程度、質疑応答 5 分程度 計 20 分
但し、場合により 15 分に短縮になることがあります。
- ・抄録の文字数：400 字 ～ 800 字程度（英文の場合、A4 1 ページ程度）
※ 抄録集（プログラム）は Moodle に掲載
- ・抄録について：臨床研究の含まれた内容については、倫理委員会の承認番号を抄録に記載すること。
- ・コメンテーター：学生が所属する教育研究分野以外の分野の医歯薬学総合研究科籍、岡山大学病院籍、または寄付講座の助教以上の教員。
但し、助教以上の教員であっても本学大学院生は除く。
他研究科教員の場合は、学務委員会において審議する。
(大学院生と指導教授が相談の上、コメンテーター候補者に内諾を得る)
業務：大学院生の発表を聞き、その場においてコメント・アドバイスを行う

4. 担当世話教員及び役割

(1) 各大講座の世話教員（別紙 開催講座 及び 世話教員担当一覧のとおり）

(2) 役割：当日の運営全般

- ・セミナーの進行を行い、活発な質疑応答になるよう配慮をおこなう。
- ・大学院生の発表後、コメンテーターよりコメントを受けるよう進行する。
- ・発表者の交替がスムーズにできるよう配慮をおこなう。

5. 研究科を構成する教育研究分野

教育 duty と考え、発表者の所属する教育研究分野からは、必ず 1 名以上の教員が出席することとする。

2022年度 課題研究セミナー発表要領

■ 課題研究セミナーでの発表目的：

大学院では、大学院教育の質の向上、学位の質の保証及び学位の国際的通用性を求められている。課題研究セミナーでの発表は、大学院生の課題研究の成果発表会（中間発表）として位置づけるとともに、教員や他の大学院生とのディスカッションを通して、これまでの研究過程からの課題を見いだすとともに、今後の方向性を定めることを目的として実施する。

■ 発表のタイミング：

研究の初期準備段階ではなく、既に得られている研究実績のあるもの
 可能な限り学位課題研究として完成に近いもの
 大学院生が、教員とのディスカッションをおこなえるレベルに達していること

■ 発表時期： 夏季：7月中旬～8月上旬 秋季：10月中旬～11月上旬

（日程は、別途公表）※MS Teams を使用したオンライン開催

発表登録の手順 ※教員一覧 <http://www.hsc.okayama-u.ac.jp/mdps/professors.html>

	内 容	流れ・方法等	夏季日程	秋季日程
1	発表申請・題目とコメンテーターの登録 「コメンテーター候補者」を指名(1名) *指導教員と相談のうえ、指導教員がコメンテーター候補者に連絡し、内諾を得る。その候補者を登録。 *発表登録前に必ずコメンテーター候補者と日程の調整を行う。	メール： 学生 → 大学院担当 kdf7986@adm.okayama-u.ac.jp	締切 5/20（金）	締切 8/26（金）
2	学務委員会からコメンテーター候補者への委嘱		6/7（火）	9/6（火）
3	発表予定日時の決定 *日程決定後の変更は受付られません	メール： 大学院担当 → 学生	6月中旬	9月上旬
4	抄録の登録 400～800字程度 (英文の場合はA4 1ページ程度)	メール： 学生 → 大学院担当	締切 6/24（金）	締切 9/26（月）
5	抄録公開 (Moodle)		7/6（水）頃	10/5（水）頃
6	課題研究セミナーの実施			

※締切を過ぎた登録は、一切受付はできません。

発表当日の手順

	内 容
1	地震の発表時間の開始 20 分前までに、各自のパソコンで MS Teams にログインする。 ※ 事前の動作確認をおこなわず当日発表（プレゼンテーション）できなかつた場合は、発表とカウントできない場合があるので、必ず事前に動作確認をおこなうこと。
2	世話教員の進行によりセミナー開始 …標準時間 20 分（発表 15 分程度、質疑応答 5 分程度） ※ 発表者の交替をスムーズに行うため、前者の発表後、直ちに発表が開始できるよう予定時間前から待機しておく。
3	自分の発表の順番まで、他の大学院生の発表を聴講しつつ待つ。
4	発表をおこない、質疑応答に対応する。 また、指名したコメンテーターからアドバイスを受ける。
5	終了後は、他の大学院生の発表を聴講する。

課題研究セミナーでの教職員の役割

1. 大学院生の指導教員：

- ・大学院生の研究の状況を考慮し、セミナー発表のタイミングについて指導を行う。
- ・大学院生がセミナーで発表する際の「コメンテーター候補者」（1名）の指名について相談を受け、「コメンテーター」になっていただきたい教員に依頼し、内諾を得る。

※「コメンテーター候補者」

学生が所属する教育研究分野以外の分野の医歯薬学総合研究科籍又は 岡山大学病院籍の助教以上の教員。但し、学生の所属する教育研究分野、寄付講座の同じ研究分野の教員および、岡山大学病院籍の助教以上の教員であっても本学大学院生は除く。

他研究科教員の場合は、学務委員会において審議する。

「コメンテーター候補者」には、学務委員会から「コメンテーター」として委嘱する。

2. 世話教員

業務：当日の運営全般

- ・セミナーの進行を行い、活発な質疑応答になるよう配慮をおこなう。
- ・大学院生の発表後、コメンテーターよりコメントを受けるよう進行する。
- ・発表者の交替がスムーズにできるよう配慮をおこなう。

3. コメンテーター（大学院生の所属する教育研究分野以外の分野より指名）

大学院生及びその指導教員からの依頼を受け、学務委員会より委嘱されたコメンテーターは課題研究セミナー会議にて当該大学院生の発表を聞き、コメント・アドバイスをこなう。

※ 指名を受け内諾した後、都合がつかなくなった場合は、コメンテーター教員が交代教員を指名し依頼する。

4. 研究科を構成する教育研究分野

教育 duty と考え、発表者の所属する教育研究分野からは、必ず1名以上の教員が出席することとする。